2026年11月27日
株式会社ソラコム

業務を任せられるAIボットを構築、「Wisora」の上位プランで専門家の伴走支援を標準提供

社内データの整備やAIへの指示設計、業務システムとの連携から回答精度の改善まで支援

株式会社ソラコム（本社：東京都港区、代表取締役社長CEO 玉川 憲）は、AIボットサービス「Wisora（ウィソラ）」の上位プラン「Wisora Enterprise」を拡充し、テクニカルライターと専任エンジニアによる伴走支援を標準提供します。お客さまの業務課題に応じて、社内データの整備やAIへの指示設計からAIボットの構築、業務システムとの連携、導入後の回答精度の改善まで支援します。これにより、AIに関する専門知識やノウハウがなくても、自社の業務に適した、実務を任せられるAIボットの構築・運用を推進します。



AIボットの導入が容易になる一方で、期待する回答が得られず、実際の業務を任せるには至らないケースもあります。回答精度は、AIモデルの性能だけでなく、参照する情報の質や指示の与え方にも大きく左右されます。現場で役立つAIボットを導入するには、企業が保有するマニュアルやデータベース、業務システムなどの情報を、AIが適切に活用できるように収集し、整備することが必要です。また、導入したAIボットを実際の業務に定着させるには、回答精度の向上や既存システムとの連携に加え、現場の業務に合わせた運用や継続的な改善が不可欠です。

Wisoraは、WebサイトやPDFなどの情報を学習させるだけで、専門知識がなくてもAIボットを作成できるサービスです。これまで、手軽に導入できる「Wisora Starter」、多様な外部サービスとの連携に対応する「Wisora Pro」を提供し、カスタマーサポートや社内ヘルプデスク、営業支援など、さまざまな業務でのAI活用を支援してきました。

上位プラン「Wisora Enterprise」で標準提供する伴走支援では、テクニカルライターと専任エンジニアが、お客さまの業務課題に応じたAIボットの導入と運用を支援します。テクニカルライターが資料の内容や意味を読み解き、複雑な形式の資料や未整理の情報をAIが活用しやすい形に整備するとともに、専任エンジニアがAIボットの構築や業務システムとの連携を支援します。

導入にあたって、まずお客さまの業務内容や課題、保有するデータ、AIボットに任せたい業務や期待する回答を把握し、データの分析・整備からAIボットの構築、回答精度の検証までを行います。初期の構築・伴走期間は1～6カ月を想定し、導入後はお客さま自身で情報を更新し、AIボットが継続的に学習できる環境を整えます。さらに、利用状況やナレッジカバー率、回答できなかった質問などを月次レポートとしてまとめ、追加学習や資料の更新を提案することで、回答精度の継続的な向上と業務への定着を支援します。

Wisora Enterpriseの料金は個別見積もりです。Wisora Starter、Wisora Proについては、引き続きお客さま自身でAIボットを構築・運用でき、14日間の無料トライアルもご利用いただけます。

ソラコムはAIやIoTなどの最新技術を誰もが活用できるサービスとして提供するとともに、お客さまに寄り添った支援を通じ、イノベーションの創出を推進していきます。

AIボットサービス「Wisora」 上位プランの伴走支援

Wisora Enterpriseの特徴

- **専門家による伴走支援**
  テクニカルライターと専任エンジニアがお客さまの業務や課題を理解し、AIボットの設計・構築から回答精度の改善まで、技術面から支援します。

- **社内データの整備・最適化**
  マニュアル、PDF、問い合わせ履歴など、形式や保存場所が異なる情報をAIが活用しやすい形に整備・構造化。表や図を含む複雑な資料にも対応し、回答精度を向上させます。

- **業務システムとの連携**
  APIやMCP（Model Context Protocol）などを活用し、社内の業務システムとの連携を実現します。蓄積された文書の検索だけではなく、業務システムから取得した情報をもとに回答するなど、活用の幅を広げます。

想定されるユースケース

- **設備メーカーにおける保守業務の効率化**
  製品の型番や使用条件によって異なる仕様情報を整理・構造化し、保守担当者からの問い合わせにAIボットが回答。さらに、IoT機器の稼働データと組み合わせることで、設備の状態や異常の兆候の確認も支援

- **製品メーカーにおけるカスタマーサポートの品質向上**
  過去の問い合わせや対応履歴からQ&Aを整理し、AIボットが標準化された回答で一次対応。担当者による回答のばらつきを抑え、対応品質の均一化と業務負荷の軽減を支援

- **複数拠点における設備管理業務の効率化**
  拠点ごとに異なる設備情報や点検記録をAIボットに連携し、各拠点の担当者が必要な情報を自然な言葉で確認可能に。担当拠点に応じた情報の参照により、現場での自己解決を促進し、本部への問い合わせ負荷を軽減

*お客さまのデータや学習したモデルは、セキュリティや安全性について十分に配慮し、他のサービスで二次利用することはありません。

企業の「知っている」を「答えられる」に変える
業務支援のためのAIボットサービス「Wisora」



Wisoraは、企業が持つWebサイトやマニュアル、社内資料などの情報を活用し、自社専用のAIボットを構築・運用できるAIボットサービスです。AIやシステムの専門知識がなくても、現場の担当者自身でAIボットを作成・改善できます。AI/IoTの技術を軸にさまざまな企業の業務DXを支援してきたソラコムが、その知見を活かして開発・提供しています。

Webサイトでのカスタマーサポートをはじめ、LINE公式アカウントを活用した顧客対応、SlackやMicrosoft Teamsを利用した社内問い合わせ・情報検索など、社内外のさまざまなコミュニケーションに対応します。AIによる迅速な一次対応と、必要に応じた人による対応を組み合わせることで、問い合わせ業務の効率化と対応品質の向上を支援します。

https://wisora.jp/

*「LINE」は、LINEヤフー株式会社の登録商標です。
*「Slack」は、Slack Technologies, LLCの登録商標です。
*「Microsoft Teams」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ソラコムについて

AI/IoT通信プラットフォームSORACOMは、世界200以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客さまにご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト https://soracom.com

ソラコムのIRサイトでは、決算情報・IR資料など、株主・投資家様向け情報を掲載しています。
公式IRサイト・ニュースレター
・IRサイト
https://soracom.com/ja/ir
・IRニュースレター登録
https://soracom.com/ja/ir/newsletter
・IRデータ（AI向け）利用ガイド
https://soracom.com/ir-data/ai/ir data book latest README.md
・IRデータ（AI向け）CSV
https://soracom.com/ir-data/ai/ir data book latest.csv

関連レポート・公式SNS
・シェアードリサーチレポート
https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A
・ソラコムIR公式note
https://note.com/soracom_ir
・ソラコムIR公式X
https://x.com/SORACOM_IR

＜本ニュースに関するお問い合わせ＞

株式会社ソラコム　広報 田渕
pr@soracom.jp